

北海道地区自然災害科学資料センター活動報告概要 (2022年度)

(1) 一般活動（地区幹事会・センター運営委員会）

第1回幹事会：2022年8月22日（月）13:00～ 参加人数：13名

1. 自然災害研究協議会報告

松本部長より、令和4年4月21日（水）開催の令和4年度第1回自然災害研究協議会について、主として以下のことが報告された。

- ・令和3年度決算報告：新型コロナウイルスにより様々な事業が中止やオンライン開催に切り替わり旅費を中心に不用額が発生した。予算の残額は繰越できず、全額返納となった。
 - ・「第59回自然災害科学総合シンポジウム」が令和4年9月26日（月）に京都大学宇治おうぼくプラザ きはだホールで対面またはハイブリット開催を予定。
 - ・令和4年度自然災害研究協議会予算（案）：新型コロナウイルス等により変則的な状況が続いていたが、今年度は通常通りの活動を見込み、例年通りの予算編成とした。備品等の購入は原則認めないが、調査に有効活用できることを前提として、以下2点が満たせる場合は認められる。
 - ・調査費が十分であること
 - ・備品は京都大学にて登録・管理されるため事務局との管理体制があること
- SAIGAI 運営経費の予算案について、昨年度の執行は赤字であったが、他項目で不用額が発生したため、所蔵資料の燻蒸、データ整理等 SAIGAI 運営経費を有効に使用した結果として赤字であるが、今年度は計画通りに執行が進むことを前提に予算を組んでいると説明があった。

2. 2021年度決算報告

菊地センター長より、以下のとおり報告された。

一般運営財源（研究経費）

収入：3,296,384円(2020年度繰越分を含む)

支出：708,796円

残高：2,587,588円

寄附金

収入：440,793円（2020年度繰越分）

支出：0円

残高：440,793円

3. 2022年度予算案

菊地センター長より、以下のとおり報告された。

一般運営財源（研究経費）

収入：3,760,588円(2021年度繰越分を含む想定額)

支出：1,173,000円

寄附金

収入：440,793 円（2021 年度繰越分）

支出：支出予定なし

4. 2022 年度地区フォーラムについて

菊地センター長より、尾関先生より日本雪氷学会北海道支部との共催で、2021 年～2022 年冬期の大雪をテーマに講演会開催のご提案を頂いた旨報告された。10 月末～12 月初旬の期間を予定し、尾関先生より進めて頂けると報告された。対面もしくはオンラインにて開催予定。来年度は他に案がなければ、例年のローテーションにより室蘭工業大学の委員の先生へ依頼する予定。

5. 総会特別講演会について

菊地センター長より、工学研究院 林基哉先生へ打診し、総会特別講演会の講演者としてご快諾いただいたと報告された。他に講演いただける方を募ったが、候補者がいないため、林先生のみご講演いただくこととなった。

6. センター業務報告

菊地センター長より、以下のとおり報告された。

北海道地区部会メンバー数：部会員 81 名、協力員 64 名、合計 145 名

資料の受入：寄贈 4 件

資料の貸出し：災害資料 1 件

センター報告 Vol. 35：メール送信者数 171 名、冊子送付者数 26 名（送付部数 38 部）

WEB サイトについて：公開中

7. センター報告について

菊地センター長より、センター報告 36 号の原稿を募集中であるとの連絡があった。

報文・資料について、尾関先生より札幌の大雪についてご寄稿いただけるとお申し出いただいた。

また、菊地センター長より千島海溝沿いの地震動予測についてご寄稿いただける旨報告があった。

地区フォーラム開催報告については、谷岡先生へ依頼しご快諾いただいた。

事務員より、災害記録について、令和 3 年度・4 年度のデータを募集しており、引き続きご協力いただきたいと連絡があった。

第2回幹事会：2022年12月21日（水）10：00～ 参加人数：8名

1. 自然災害研究協議会報告

松本部長より、令和4年9月26日（月）開催の令和4年度第2回自然災害研究協議会について、主として以下のことが報告された。

- ・第59回自然災害科学総合シンポジウム：令和4年9月26日（月）にハイブリットにて開催された（Zoomおよび京都大学防災研究所連携研究棟）
- ・河川災害に関するシンポジウム：令和4年2月ごろ開催予定
- ・防犯防災総合展2022（後援）：令和4年6月9日（木）～10日（金）にインテックス大阪にて開催された
- ・科研費（特別研究促進費）・突発災害調査：「能登半島北東部において継続する地震活動に関する総合調査」の申請、「トンガ海底火山噴火とそれに伴う津波の予測と災害に関する総合調査」はR3年度より継続中
- ・自然災害研究協議会による突発災害調査研究サポート：現在なし
- ・データベース SAIGAI：不要な資料の廃棄・データ整理が進められている
- ・国際展開調査：第6回世界防災研究所サミットが令和5年3月15日～17日に開催予定

また、松本部長より、北海道地区の予算について今年度も幹事会や総会のオンライン実施に伴い、残額が発生するため、京大防災研究所 五十嵐先生へご相談され、残額を返納することに問題がないと返答頂いたことが報告された。今後の予算配分額を変更する旨検討が必要とご連絡された。菊地センター長より、今後もオンラインで会議を行うかどうか意見を募り、木幡先生より対面が良いとのご意見があった。また、岡田先生より長期的に資料整理を行うにあたり人件費を見直す必要があるとご意見があり、菊地センター長より将来的に専任の事務員を長期雇用する必要があると述べられた。

2. 2022年度予算中間報告

菊地センター長より、以下のとおり報告された。

一般運営財源（研究経費）

収入：3,673,000円（2021年度繰越分を含む）

支出：402,731円

残高：3,270,269円

寄附金

収入：440,793円（2021年度繰越分）

支出：0円

残高：440,793円

→事務員・桐本より予算の訂正について報告された。一般運営財源・2021年度決算繰越分は2,587,588円と報告したが、昨年度末に残額87,588円を使い切ることができず、すでに繰り越している2,500,000円以上は繰越せないため、2021年度決算繰越分は2,500,000円のみとなり、一般運営財源・研究経費の収入額は3,673,000円となる旨報告された。また、今年度の繰越申請額は、現在3,270,269円の残額のうち、2,950,000円とする旨連絡があった。

3. 地区フォーラムについて

尾関先生より令和4年12月3日(土)に開催された地区フォーラムについて主として以下のことを報告された。

- ・防災フォーラム「2021/22年冬に札幌都市圏が見舞われた大雪を振り返る ～この冬にそなえて『雪』のことを考える」：令和4年12月3日(土)14時～16時に紀伊國屋書店札幌本店1階インナーガーデンにて三部構成で開催された。
- ・共催：日本雪氷学会北海道支部、後援：札幌市・北見工業大学地域と歩む防災研究センター・日本気象学会北海道支部・日本気象協会
- ・日本気象協会 杉山友衣可様、北見工業大学 白川龍生先生、北海道大学 稲津将先生、北海道開発技術センター 小西信義様にご講演いただいた。
- ・コロナ感染対策のため、定員を45名とし、1部26名、2部26名、3部19名の方にご参加いただいた。
- ・会計について、講演謝金、チラシ印刷代、プロジェクターレンタル代の合計63,294円を自然災害研究協議会北海道地区部会より支出し、お弁当については共催の日本雪氷学会北海道支部より支出いただいた。会場費は紀伊國屋書店札幌本店のご厚意により無料であった。

菊地センター長より来年度の地区フォーラムについて案がないか打診されたが、案がないため次年度に取り決めることとなった。

4. 総会特別講演会について

菊地センター長より、令和5年3月16日(木)13時30分より総会を行うと報告された。特別講演会は14時30分より工学研究院 林基哉先生に質疑応答を含み45分間ご講演いただく予定。

5. センター業務報告

菊地センター長より、以下のとおり報告された。

北海道地区部会メンバー数：部会員81名、協力員63名、合計144名

資料の受入：寄贈6件

資料の貸出し・閲覧：0件

WEBサイトについて：公開中

6. センター報告について

菊地センター長より、今年度のセンター報告ご寄稿者は、尾関先生、菊地センター長、中川先生、蟹江先生、清水先生、谷岡先生であることが報告された。

[V]災害記録は令和3年度分を募集中であり、再度様式を幹事会后に議事録とともに送付すると連絡があった。

7. その他

菊地センター長より次年度センター長について、すでに内諾をいただいている工学研究院 渡部要一先生であることご連絡があった。

また、「資料D. 自然災害研究協議会北海道地区部会 部会員・協力員名簿」について、職位等はわ

かる範囲で修正しているが、変更がある場合はお知らせいただきたいと連絡された。
高井先生より、文部科学省のアンケート調査についてご質問があり、幹事会后ご記入いただいたアンケートを送付いただき、当センターより提出した。

(2) 地区フォーラム

2022年12月3日(土) 14:00~16:00 (13:30開場)

紀伊國屋書店札幌本店1階 札幌インナーガーデン

日本雪氷学会北海道支部共催 防災フォーラム

「2021/22年冬に札幌都市圏が見舞われた大雪を振り返る
～この冬にそなえて『雪』のことを考える」

講演者:

- ・杉山 友衣可 氏 (日本気象協会 気象予報士)
「札幌に雪をもたらした気象の話」他
- ・白川 龍生 氏 (北見工業大学 准教授)
「札幌都市圏における積雪の特徴」
- ・稲津 将 氏 (北海道大学大学院理学研究院 教授)
「未来の北海道の雪の降り方はどうなるの？」
- ・小西 信義 氏 (北海道開発技術センター 主任研究員)
「その雪下ろし、本当に必要ですか？」

(3) 出版活動

北海道地区自然災害科学資料センター報告 vol.36号の刊行 (2023年3月)

(4) 地区総会・特別講演会

2023年3月16日(木) 地区総会 13:30~14:30、特別講演会 14:30~15:15

オンライン開催

講演者: 林 基哉 先生 (北海道大学大学院工学研究院)

「日本の COVID-19 に対する建築環境衛生の対策」